

10月 1日～15日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
07/10/01 (月)	東京は早朝に発表された日銀短観が良好な内容になったものの、株価高が逆に円売りを誘発した。欧米のドル/円はレンジ、円、ドルとも弱く結果ユーロの独歩高。欧州要人の懸念発言も影響限定的。	・9月日銀短観DIは23 ・福田首相が所信表明演説 ・9月ISM製造業景況指数52.0	・インクム・ロバート議長「ドル安・ユーロ高を懸念」 ・前FRB議長「住宅価格はこれから下がるが信用リスクは終決へ」 ・ECB総裁「米金融当局の強いドル発言に注目している」	114.87 116.08 114.77 115.75	163.93 165.07 163.74 164.74	寄付 安値 高値 終値
07/10/02 (火)	東京はユーロ高に対する警戒感からユーロ売り優勢。前日から一転ユーロが独歩安商況。欧米は引き続きユーロが買えない。ただ米経済指標も買えず、ドルも積極的に買にくい。	・一部報道「仏経済相とユーロ財務相が共同のインタビューを用意」 ・ECB緊急会合の噂 ・8月の米住宅販売保留指数 6.5%	・額賀財務相「サブプライム問題は落ち着きを取り戻しているが注意深く見守る」 ・町村官房長官「消費税引き上げは避けて通れない課題」	115.77 116.00 115.28 115.74	164.80 164.80 163.65 163.83	寄付 安値 高値 終値
07/10/03 (水)	東京はノーザンロック救済報道もあり信用リスクの後退から円売り優勢。とくに加え一段安進む。欧米はグリーンズパン発言を受けてドル続伸、途中G7筋の発言が伝えられるも影響は限定的なもの。	・JCフラーによるノーザンロック救済報道あり ・インクムがドル安を受けてドル建て原油輸出を減らすとの一部報道あり ・9月のADP全米雇用報告5.8万人、同ISM非製造業景況指数54.8	・伊首相「独首相との会談でユーロへの懸念について議論した」 ・前FRB議長「市場混乱の最悪期は脱しつつある」 ・欧州G7筋「ユーロ圏政府は円や人民元の下落についても懸念」	115.63 116.78 115.56 116.75	163.67 165.30 163.66 164.50	寄付 安値 高値 終値
07/10/04 (木)	東京はBOE利下げ観測などから円が加えを中心に小高く推移。ただドル/円の動意は鈍かった。欧米は期待された英利下げが見送られたうえ、ECB声明や総裁発言も予想の範囲内でユーロ買い材料に。	・欧州委員会四半期報告「今年のユーロ圏成長見通しは2.5%との予想」 ・英テレグラフ紙に英利下げ決断の観測記事 ・BOEとECBが金利据え置きを決定 ・8月の米製造業受注 3.3%	・岩田日銀副総裁「米景気の先行き減速リスクが高まっている」 ・ECB総裁「金利決定にはさらなる情報が必要」	116.68 116.77 116.27 116.45	164.52 164.90 163.93 164.64	寄付 安値 高値 終値
07/10/05 (金)	東京は大型投信設定の期待から一時円安に振れるも続かず。その後は米雇用統計待ちで手控えムード。欧米は米雇用統計が予想以上に強い内容。とくに前月の修正値を好感した買いからドル強含みで越週。	・8月景気先行指数30.0 ・9月の米失業率4.7%、同非農業者雇用数11.0万人	・英財務相「信用収縮は英経済に悪影響を与える」 ・仏欧州問題担当相「ユーロは注視すべき水準」 ・仏大統領報道官「ユーロの水準に関する議論はオープン」	116.43 117.29 116.36 116.99	164.59 165.39 164.25 165.37	寄付 安値 高値 終値
07/10/08 (月)	東京休場でアジアタイムは小動き。ただ前週発表された米雇用統計の影響からドルは小幅高。欧米はNYが休場でやはり薄商、しかしIMF専務理事の発言もありドルは小幅続伸。高値圏で大引け。	・ECB声明「流動性の状況を引き続き注意深く監視していく」 ・日米市場が休場	・IMF専務理事「ドルは過小評価されている」 ・スミチ「ECB理事「ユーロ高は正にに向けた行動、G7待つ必要ない」(7日)」 ・前FRB議長「米ドル安、現時点では問題ない」(7日)」	117.05 117.61 116.98 117.41	165.60 165.65 164.67 164.93	寄付 安値 高値 終値
07/10/09 (火)	東京はユーロ高は正懸念などからユーロが買えない。対円では高値から1円程度の下げを見せた。欧米はFOMC議事録が予想より弱くなかったことに加え、米株が強含みに推移したことからドル堅調裡。	・ユーロ圏財務相会合でのユーロ高は正懸念 ・9月の景気ウォッチャー調査42.9 ・FOMC議事録「賃金上昇、ドル安がインフレリスク」	・ECB総裁「G7で為替を協議する」 ・独財務相「最近の為替変動は異常ではない」 ・関係者「G7が格付け会社に一段の透明性を求める可能性」	117.38 117.46 116.80 117.15	164.86 165.41 164.15 165.26	寄付 安値 高値 終値
07/10/10 (水)	東京は前日NYダウが堅調推移したこと続き日経平均も強含みとなったため、信用リスク低下で円売りの。欧米は新規材料に乏しく全国的に手控えムード。とくにドル/円は参加者少なくレンジ相場の様相に。	・8月の米卸売在庫0.1%	・インクム・ロバート議長「人民元相場はユーロ圏にとってもと深大な問 ・伊中銀総裁「ユーロ安への市場介入は簡単ではない」 ・前FRB議長「米国が景気後退に陥る確率は50%を下回る」	117.21 117.54 116.97 117.24	165.36 166.25 165.18 165.84	寄付 安値 高値 終値
07/10/11 (木)	東京は日本にとってポジティブな要因続くも逆に信用リスクの後退と受け止められレンジ中心の円安へ。欧米はユーロが強含み。独連銀総裁発言などを好感したユーロ買いが優勢だった。	・8月経常収支2兆810億円、同貿易収支8922億円、同機械受注 7.7% ・ムディーズが日本国債を格上げ ・日銀が金利据え置きを決定 ・8月の米貿易収支 575.9億ドル ・南アが予想外の0.5%利上げ実施	・日銀総裁「海外経済や国際金融市場に不確実性がある」 ・米財務長官「強いドルは米国の利益に叶う」 ・独連銀総裁「ECBはインフレ抑制のため追加利上げが必要となる可能	117.13 117.79 117.01 117.28	165.61 167.63 165.57 166.49	寄付 安値 高値 終値
07/10/12 (金)	東京は株価動向をにらみ一喜一憂。終盤は中国利上げの噂もあり円高進行。欧米は翌週末のG7をにらみ積極的な動意が乏しい。米経済指標は強弱交錯で材料にならず。	・9月国内企業物価指数 0.1% ・中国金利引き上げの噂あり ・9月の米PPIは1.1%、同小売売上高0.6%、10月ミシガン消費者信頼感指数82.0 ・中国が預金準備率引き上げ(13日)	・キミット財務副長官「ドルは堅調なファンダメンタルズを反映すべき」 ・ボルトガル中銀総裁「金利は引き続き歴史上最低水準」	117.47 117.70 117.15 117.60	166.81 167.12 166.22 166.73	寄付 安値 高値 終値
07/10/15 (月)	東京はG7ユーロ高は正の噂や欧州債償還の噂などがあつたにもかかわらずユーロが強含み。欧米は良好な米経済指標でドル買い進むも外発言を受けて引けに掛けて一転ドルは下落へ。	・8月鉱工業生産確報値3.5% ・10月のNZ製造業景況指数28.8 ・米大手銀によるABCP支援基金設立の報道あり	・胡中国国家主席「国際収支均衡に向けて包括的措置をとる方針」 ・仏大統領「人民元は人為的に過小評価されている」 ・IMF専務理事「ドルは依然として過大評価されているようだ」	117.63 117.95 117.11 117.39	166.65 167.73 166.30 166.75	寄付 安値 高値 終値

* ご質問などはEメールにてお願い致します。アドレス info@fx-newsletter.com まで